※令和４年度以降入学生用

学校番号	T1202

令和５年度　家庭科

教科	家庭	科目	生活産業基礎	単位数	２単位	年次	２～４年次
使用教科書	生活産業基礎（実教出版）						
副教材等	実習教材、プリント等						

１　担当者からのメッセージ（学習方法等）

〇家庭生活に関心をもち、積極的に取り組みましょう
・生活の様々な現象や課題をワークショップや演習等を通して考え、理解を深め知識を身に付けます。友だちの考えを知り、多様な考え方を学び、自分の考えをもちましょう。
・実践的・体験的な学習を通して、科学的な理解に基づいた確かな技術を身に付けます。
・学んだことを自分の生活の問題として捉え、よりよい生活をめざします。

２　学習の到達目標

家庭の生活に関わる産業の見方・考え方を働かせ，実践的・体験的な学習活動を行うことなどを通して，衣食住などに関する生活産業や関連する 職業を担う職業人として必要な基礎的な資質・能力を次のとおり育成することを目指す。
(1) 生活産業や関連する職業について体系的・系統的に理解するとともに，関連する技術を身に付けるようにする。
(2) 生活産業や関連する職業に関する課題を発見し，生活産業を担う職業人として合理的かつ創造的に解決する力を養う。
(3) 生活産業や関連する職業への関心を高め，適切な進路選択と専門性の向上を目指して自ら学び，生活産業の振興や社会貢 献に主体的かつ協働的に取り組む態度を養う。

３　評価の観点及びその趣旨

観点	a:知識・技術	b:思考・判断・表現	c:主体的に学習に取り組む態度
観点の趣旨	生活産業や関連する職業について体系的・系統的に理解するとともに，関連する技術を身に付けることができる。	生活産業や関連する職業に関する課題を発見し，生活産業を担う職業人として合理的かつ創造的に解決することができる。	生活産業や関連する職業への関心を高め，適切な進路選択と専門性の向上を目指して自ら学び，生活産業の振興や社会貢献に主体的かつ協働的に取り組むことができる。

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

※令和４年度以降入学生用

４　学習の活動

学期	単元名	学習内容	単元(題材)の評価規準	評価方法		
				知(a)	思(b)	主(c)
前期	生活産業を学ぶに当たって	・働くことの社会的な意義や役割 ・職業人に求められる倫理観	a:働くことの社会的意義や役割、職業人に求められる倫理観について、必要な知識を身に付けている。 b: 働くことの社会的意義や役割、職業人に求められる倫理観について、課題を見出し、自ら主体的に判断・表現することができる。 c: 働くことの社会的意義や役割、職業人に求められる倫理観について、意欲的に考え、取り組んでいる。	ワークシート 定期考査 単元小テスト	実習作品 作品発表 実習レポート	学習状況観察 振り返りシート 発表 自己評価 等
		・産業構造の変化と課題 ・生活産業の意義と役割	a: 産業構造の変化と課題ついて、必要な知識・技術を身に付けている。 b: 産業構造の変化と課題について、課題を見出し、自ら主体的に判断・表現することができる。 c: 生活産業の意義と役割について、意欲的に考え、取り組んでいる。	ワークシート 定期考査 単元小テスト	実習レポート	学習状況観察 振り返りシート発表 自己評価 等
後期	生活産業と職業	・食生活関連分野 ・衣生活関連分野 ・住生活関連分野	a: 衣食住の関連分野において、必要な知識・技術を身に付けている。 b: 衣食住の関連分野において、課題を見出し、自ら主体的に判断・表現することができる。 c: 衣食住の関連分野において、意欲的に考え、取り組んでいる。	ワークシート記述 定期考査 単元小テスト	実習作品 作品発表 実習レポート	学習状況観察 振り返りシート 発表 自己評価 等
	職業生活と自己実現	・職業選択と自己実現 ・将来設計と進路計画	a:職業選択と自己実現、将来設計と進路計画について、必要な知識・技術を身に付けている。 b: 職業選択と自己実現、将来設計と進路計画について、課題を見出し、自ら主体的に判断・表現することができる。 c: 職業選択と自己実現、将来設計と進路計画について、意欲的に考え、取り組んでいる。	ワークシート 定期考査 単元小テスト	作品発表 実習レポート	学習状況観察 振り返りシート 発表 自己評価 等

※　表中の観点について　a:知識・技能　b:思考・判断・表現　c:主体的に学習に取り組む態度